

# ヒマラヤで山の復旧やっています

- JICA の技術協力でインド山岳地帯の森林保全 -

© ウットラカンド州山地災害対策プロジェクト

2013年6月にインド・ウットラカンド州の山岳地域では大規模な水害が発生し、4,200以上の村が被害を受け、6,000人以上の方が亡くなりました。

ウットラカンド政府と JICA（日本国際協力機構）は日本の治山技術を取り入れて山地災害の復旧・防止をするため、覚書を結び、2017年3月から技術協力プロジェクト「ウットラカンド州山地災害対策プロジェクト」が始まりました。

このパンフレットは、そのプロジェクトでウットラカンド州に取り入れられる日本の治山技術について、分かりやすく紹介するために作成したものです。



© ShingoKitaura

## 主な登場人物紹介

オサム  
治さん(チーフ)



プロジェクトのチーフ  
治山のことを誰かに話したくていつもチャンスを狙っている。

ヤマ  
山さん(専門家)



治山の技術者  
調査や設計をプロジェクトと一緒に働くインド人技術者に指導している。

ガリマさん(秘書)



プロジェクトのアシスタント  
日本語は得意だけど、治山については知識がないので、勉強中。

プロジェクトには、JICA から派遣されている日本人専門家だけではなく、ウットラカンド州森林局の職員やインド人エンジニア、プロジェクトスタッフ、調査会社、日本の治山分野で仕事をしている方など様々な方が関わっています。これらの方達の日々の活動や、やりとりを通じて日本の治山技術の移転が行われています。

※ このパンフレットの登場人物や出来事は、実在のものではないものも含まれていることを、あらかじめご了承ください。